

【ねがいましては】

平成 10 年 9 月 25 日

第 108 号

「心の景色」

共和珠算学習塾

日々、競争の中にはうりこまれ、欲の渦巻いた社会の中で生活しつづける私たち。

一日一度でいいから、心底心を洗い流して時が流れたらいいなと思います。

子供たちは、常に世間の矛盾にさらされながら生活しています。迷い、傷つき、苦しみながら生活しています。そんなとき、この子たちに「心の景色」なるものが、しっかりとあればなー・・などと思います。その景色はいろいろでしょう。

私の場合、小学生の頃、夏休みの夕方、田舎の川に近い土手に腰を下ろし、山の向こうに沈む陽を、じいーっと見つめていたとき、なんともやさしく寂しく、格好よく言えば詩人にでもなったような気持ちを味わったものでした。

そんな景色を思い出すたび、時は何年たとうとも、また同じような気持ちになりたいと思うことはよくあります。五感がすべてきれいに洗われたその瞬間の気持ちは、とても心地よいものです。

子供たちにも当然のことながら、そんな景色があるのだろうなと思います。子供たちの様々な景色、私のように自然からの景色、ひょっとするとアニメ、ぬいぐるみ、または「母」のふところかもしれません。みんな大切なものとして持つてはいるのだけれど、まったくそれに気づかず、に日々送る子も多いはずです。そのような子たちは、迷いから、苦しみから逃れることなく一日一日を悶々として送ることも少なくないと思います。何もかも信じられず、孤独感に覆われながら生活しているのかもしれません。どうも私には、私の幼少の頃より、現代の子供たちのほうが、そんな景色を失った子が多いように思えます。より時間が狭くなり、生活が過密になり「心」というものをじっくり考えることが、少なくなってしまっているようなりません。

「母」は、子の成長を案じ、いろいろと思考し子にアドバイスを重ねます。えてしてそれは、あまりにも現実を直視しすぎたものが無きにしもです。が、それは「子」としては、結構「母」に対する期待とは、裏腹のものが多いと思います。

初めて母が子の笑顔を見たとき、「子」から受け取ったもの・・もちろん子は母より同様のものを受け取って然るべきなのですが・・? そこから母と子の強く大きな絆が育まれるものと思うのです。

子からすれば、母はいつまでも母、母からすれば、いつまでも子は子、二人の間に流れる「景色」は、いつまでもいつまでも心地よいものであってほしいと思っております。

☆10月の予定

9月27日(日) 珠算3級以上検定・・中央高等学校

暗算段位検定・・中央高等学校

10月 6日(火) 各検定試験合格発表

*学習科・・中学2年生以上の方・・TLTソフトに新兵器登場・・中間試験100点対策

特別講座 **成績保証** TLTソフトです もし中間試験の成績が上がらなければ

特別受講料を「全額返金」する制度です。詳しくは、別紙お渡しいたします。

行徳地域では、当教室のみです。